

# 第17回 稲門建築会特別功労賞

むらまつ えいち  
**村松 映一 (苗S38)** 株式会社村松映一建築計画室主宰

## 表彰理由

村松映一氏は、2007年6月から4年間に渡り稲門建築会会長を務められ、建築文化の向上と社会の進歩に寄与する活動を推進し、会の運営・発展及び校友の支援・育成に尽力されました。特に、建築学科創設100周年記念事業においては「100周年記念冊子の発行」と「早稲田建築アーカイブスの立ち上げ」という2大事業を持ち前のリーダーシップを発揮して主導されました。

また、実業界においては、1963年に竹中工務店入社後、東京本店設計部長、総本店取締役設計担当本部長、常務取締役、専務取締役、代表取締役副社長を歴任され、東京ドームをはじめ多くのプロジェクトの企画、計画、設計、監理、維持管理に主体的に参画して社会的評価を得るとともに、部下を優秀な設計者へと指導育成し、稲門建築会の名声を高めています。

さらに、建築界での実績として、日本建築学会副会長、建築業協会（現日本建設業連合会）設計部会副会長、東京建築士会副会長等、多くの建築関係団体の要職を歴任するとともに、建築学会賞、BCS賞、日本建築士会連合会作品賞、村野藤吾賞等の選考委員も務められました。

これらの業績により当会の発展向上に多大な貢献をされた村松映一氏を「稲門建築会特別功労者」として推薦いたします。  
 （推薦者：小林照雄）

## 略歴

1938年	東京都に生まれる	日本建築学会倫理綱領
1963年	早稲田大学第一理工学部建築学科卒業	日本建築学会はそれぞれの地域における固有の歴史と伝統と文化を尊重し
	株式会社竹中工務店入社	地球規模の自然環境と
1985年	東京本店設計部長	培った知恵と技術を共生させ
1991年	総本店取締役設計担当本部長	豊かな人間生活の基盤となる
2005年	代表取締役副社長	建築の社会的役割と責任を自覚し
2008年	顧問	人々に貢献することを使命とする
2010年	顧問退任	尾島会長の発意により作成 1999年5月31日総会議決 1999年6月1日実施
	株式会社村松映一建築計画室設立	

## 主な建築界活動

- 日本建築学会 副会長（倫理綱領・行動規範作成）  
学会賞選考委員（作品・業績・技術）  
倫理委員会委員（現在）
- 建築業協会 設計部会副会長、BCS賞選考委員
- 日本建築士会連合会 作品賞選考委員会委員、委員長（現在）
- 村野藤吾記念会委員会 委員（現在）、村野藤吾賞選考委員
- 東京建築士会 副会長、顧問（現在）
- 建築技術教育普及センター インテリアプランナー審査委員
- 日本建築美術工芸協会 理事、監事（現在）
- 千葉大学工学部デザイン工学科 非常勤講師（2000～2005）
- 公益財団法人竹中育英会 理事（現在）
- 文京建築会 幹事（現在）
- 稲門建築会 会長
- 六科会世話人会 世話人



第24回BCS賞(1983年)

1981年 MOA美術館 内外インド砂岩



第21回BCS賞(1980年)

1978年 銀座シグナス 商業施設

日本建築学会賞(業績)、第30回BCS賞(1989年)、ほか



第30回BCS賞(1989年)

1987年 東宝日比谷ビル 地区計画・容積移転

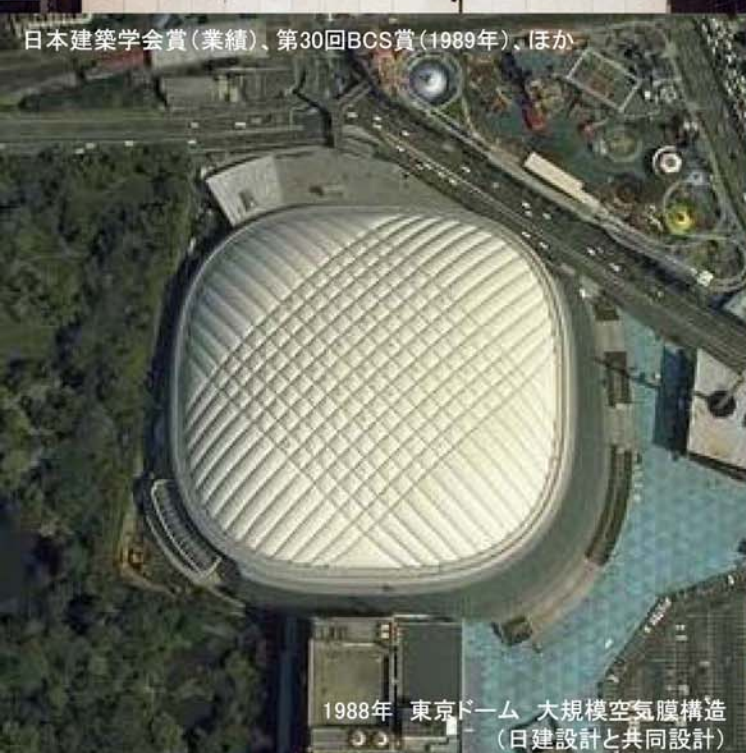
第35回BCS賞(1994年)、ほか



第39回BCS賞特別賞(1998年)

1996年 小田急相模大野駅スクエア 軌道上利用

第21回JSCA賞作品賞(2010年)、ほか



1988年 東京ドーム 大規模空気膜構造  
(日建設計と共同設計)



1998年 福岡ドーム 開閉式ドーム



2009年 高雄スタジアム コンペ最優秀  
(RLA建築師・伊東豊雄建築設計事務所と共同設計)